

こもの
菰野町の公共交通の現状とMaaSの取組
—町民が気軽におでかけできる町を目指して—

1. 菰野町について
2. 菰野町の公共交通の現状と課題
3. MaaSへの取り組み
4. 実証実験内容



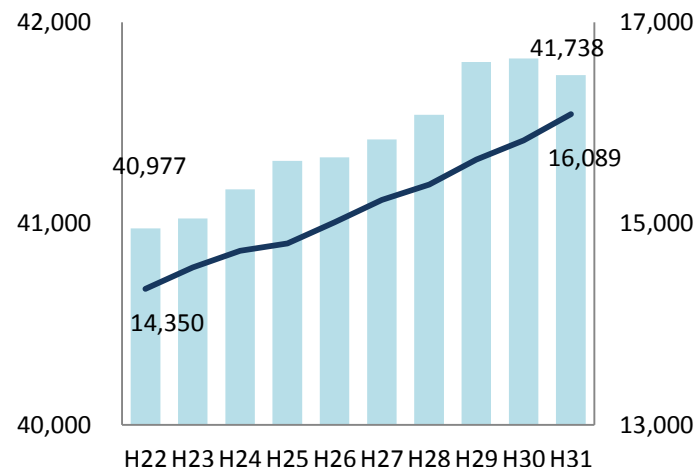
菰野町の概要

- ・ 三重県北部に位置する。県内人口最大の町
- ・ 10 km四方のほぼ正方形の町である。
- ・ 県内最大の市、四日市市に隣接し、中部地区の中心都市、名古屋市まで約40km（鉄道、高速乗合バスで約50分）
- ・ 本年3月新名神高速道路の三重県内区間が全て開通し、当町内にインターチェンジ（菰野IC）が設置された。
- ・ 10 km四方のほぼ正方形の町である。
- ・ 都市計画区域内では、町面積の約19%を農地が占め、宅地としての土地利用は約10%となっている。
- ・ 東側の東西約6 km、南北約10kmのエリアに集落が点在し、集落間には農地が広がる。西側は鈴鹿山脈（国定公園）で山林となっている。
- ・ 町の南部に鉄道が運行（4駅存在）しており、その周辺に約40%の町民が居住。
- ・ 鈴鹿山脈の主峰である御在所岳などをはじめ、当町へ年間約250万人の観光客が訪れる。

■面積	107.01 km ²
■人口	41,738人
■世帯数	16,461世帯
	(平成31年3月末)



菰野町の人口と世帯数の推移



1. 菰野町について



集落が点在、農地が広がる

町人口の40%が居住

- 2 Km
- 索道 (御在所ロープウェイ)
- 地区コミュニティセンター
- 主な集落
- 鉄道 (近鉄湯の山線)
- 主なコミュニティバス路線
- 路線バス (三重交通)
- 高速路線バス (三重交通)

2. 菰野町の公共交通の現状と課題

◆現状

鉄道（近畿日本鉄道 湯の山線）

- ・ 近鉄四日市駅と湯の山温泉駅を結ぶ朝・夕 15分、日中20～30分ヘッドの運転。

路線バス（三重交通（株） 4路線）

- ・ 1路線は四日市市と町北部を結ぶ地域間幹線系統バス、1路線は観光客輸送路線。
- ・ 2路線は高速乗合バス、当町と名古屋駅を結ぶ。

コミュニティバス（菰野町運行 7路線） 平成16年運行開始

- ・ 以前は町内を複数の路線バスが運行。民間事業者が平成15年に撤退。
- ・ 平成11年から町内福祉施設や基幹病院への高齢者の移動手段として福祉バス（無料）の運行を開始。町内に点在する集落を回るため、多数の路線を運行。
- ・ 路線バス代替と福祉バスを統合して、現在のコミュニティバスの運行を開始した。

オンデマンド交通（菰野町運行 名称：菰野町のりあいタクシー） 平成30年運行開始

- ・ コミュニティバスの運行効率向上（低頻度・多路線の見直し）を図る。
- ・ タクシー型の車輛を使用し、事前予約制の乗合運行。エリア内のミーティングポイント相互間利用。
- ・ 町内を3つのエリアに分割し、エリア間をコミュニティバスで結ぶ。
- ・ 10月1日から2エリアで運行。1つのエリアは来年度運行開始予定

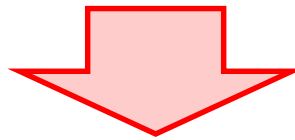
公共交通空白地有償運送（社会福祉協議会運行 名称：あいあい自動車）

ロープウェー（御在所ロープウェイ（株））

- ・ 観光客輸送。年間約53万人の利用。

◆課題

- ・人口の約4割が居住する町南部は鉄道駅などが住居に近接しているため、公共交通に対する満足度は高い。6割の町民が居住する町北部は、公共交通の充実を求める声が高い。
- ・鉄道駅、基幹病院、保健福祉センター等が町南部に存在するため、町北部から町南部への移動手段の充実が課題となっている。
- ・朝夕は通勤・通学輸送が主体となるが、日中は高齢者の利用が多数を占める。



- ・コミュニティバスを町南部と北部を結ぶ幹線として運行系統の集約を図る。
- ・コミュニティバスとオンデマンド交通を結節点（＝役場支所や公民館機能が備わる地域の中心施設）で接続し、オンデマンド交通は支線の役割を担い、集落付近への輸送を担わせる。
- ・午前は通勤通学輸送、続いて病院や保健福祉センターへの高齢者の移動が集中。オンデマンド交通は、午前の予約が集中するとともに、乗り合わせ運行が多数発生し、運行効率の向上が必要。
- ・オンデマンド交通が事前予約が必要であること、乗り合わせ等も考慮した運行案内を行わなければならないなど、利用者、運行委託事業者双方に予約の簡素化が必要。
- ・利用者の最終目的地が町内だけでなく、近隣市町であることが多く、複数の交通手段（オンデマンド交通、バス、鉄道など）を利用しての移動が必要なため、その乗り継ぎ案内が重要。

菰野町MaaS「おでかけこもの」は菰野町地域公共交通会議が主体となり、取り組んでいます。

菰野町地域公共交通会議

三重県
(交通政策課、
道路管理者)

菰野町

中部運輸局
三重運輸支局

交通事業者

町民代表

四日市西
警察署

学識経験者

三重交通(株)・(有)尾高
近畿日本鉄道(株)
御在所ロープウェイ(株)
バス協会・タクシー協会

区長(=自治会長)
老人会・PTA・福祉会
障がい者団体・
社会福祉協議会

名古屋大学大学院
環境学研究科



令和元年8月21日に菰野町MaaS「おでかけこもの」キックオフイベントを開催しました。
挨拶をする菰野町地域公共交通会議平井会長(菰野町区長会会長)



◆今年度（令和元年度）実施内容

(1) MaaSシステムの構築及び実証

- 対象交通手段・・・町内を運行する全公共交通機関
現在はそれぞれが運行・案内を行っている。
コミュニティバス～オンデマンド交通、
ロープウェイ～バス～鉄道の乗り継ぎがスムーズでない
- 検索・・・出発地から目的地までの交通手段
(特にオンデマンド交通とコミュニティバスの乗り継ぎ)
- 予約・・・web上での予約を受け付ける。従来の電話予約は継続して行う。
- 言語・・・5カ国語(日・英・ポルトガル・ハンデル・簡体中国語)
- ◎観光客も住民も、日本人も外国人(居住者も観光客も)、高齢者もそれ以外の層も(特に若年層)
各セグメントの利用喚起を念頭に、システム構築と普及を進める。



(2) AI予約・配車システムによるオンデマンド交通実証運行

- 対象地区・・・荻野町内全域
現在の町南部エリアのみの運行を10月から町北部エリアに拡大。
来年度には町内全てのエリアでオンデマンド交通の運行を行う。
- 対象者・・・町民、および町への通勤通学者及び観光客など。
- 実証実験期間・・・令和元年1月、2月

